

札幌市いじめの防止等のための基本的な方針（改定案）

## キッズコメント意見集

～いただいたご意見と札幌市教育委員会の考え方～

（児童生徒の皆さんへ）

札幌市では、子どもの皆さんが安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるようにするために、「札幌市いじめの防止等のための基本的な方針」の案を作り、令和6年3月7日から令和6年4月5日までの期間、皆さんから意見を募集しました。

この資料は、皆さんからいただいた意見の主な内容と、その意見に対する札幌市教育委員会の考え方をまとめたものです。

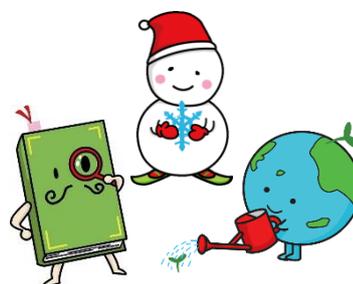
今回、皆さんからたくさんの意見をいただきました。皆さんが日頃思っていることを声に出して届けてくれた意見一つ一つから、皆さんのいじめに立ち向かう真剣な気持ちが伝わってきました。皆さんの意見を受け止め、改めて基本的な方針に取り入れました。

札幌市の教育が、皆さんにとってよりよいものになるように、これからも皆さんの声を大切にしながら様々な取組を進めていきます。

- 意見募集期間 令和6年3月7日（木）～令和6年4月5日（金）
- 意見募集方法 持参・郵送・ファックス・電子メール・札幌市公式ホームページ
- 資料の配布場所
  - ・札幌市教育委員会3階 児童生徒担当部児童生徒担当課
  - ・札幌市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー
  - ・各区役所（総務企画課広聴係）
  - ・市民の声を聞く課
  - ・札幌市公式ホームページ

合計 1,151 人から 1,219 件のご意見をいただきました。

学年		人数	件数
小	1	12	13
	2	81	85
	3	114	115
	4	173	186
	5	232	249
	6	157	171
中	1	155	164
	2	163	169
	3	55	58
高	1	2	2
	2	1	1
	3	4	4
不明		2	2
合計		1,151	1,219



※ フォーム登録1回につき一人と数えています。複数ご意見をいただいた場合はその分意見数を計上しています。

## 寄せられた主な意見と札幌市教育委員会の考え方

### 第1章 いじめの防止等のための対策の基本的な考え方

皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
<b>4 「札幌市いじめの防止等のための基本的な方針」の策定の背景等</b>	
みんなが平等に暮らせる社会になる取組をしてほしい。 (類似意見5件)	この方針では、皆さんが安心して生活できるために、学校・家庭・地域総ぐるみで、いじめは「しない・させない・許さない」をしっかり守ることを目指しています。
この方針だけでは変わらないことも多いと思う。 (類似意見2件)	今回の方針では、いじめが重要な問題なので、学校・家庭・地域が一緒にいじめは「しない・させない・許さない」をしっかり守ることを目指すこととしました。いじめは、皆さんの周りで起こる問題ですので、子どもと大人が一緒になって、取り組んでほしいと思います。
いじめに対する標語を札幌教育委員会から全ての学校に広めたらいいと思う。	札幌市教育委員会では、いじめに対する標語などの募集を呼びかけていますので、その時にはぜひ応募してください。
「しない・させない・許さない」についての説明が少なく、「許さない」というのはいじめをした人を許さないのか、それとも、いじめという行為自体を許さないのか、どちらなのかがよくわからないので、もう少し説明があるとわかりやすい。	「許さない」というのは、いじめという行為を許さないことを示しています。このようなビジョンを掲げることで、いじめを許さない雰囲気を作り、学校・家庭・地域総ぐるみで作ることを目指しています。方針の3ページに「いじめという行為は、人権侵害行為で許されるものではなく」と説明を加えました。

### 第2章 いじめの防止等のために札幌市が実施する取組

皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
<b>2 いじめの早期発見・いじめへの対処に関すること</b>	
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに悩みなどを相談しにくい。	相談しやすい環境整備をすることは大切なことですので、学校と連携して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーのみ

	ならず、より相談しやすい体制づくりを進めていきます。
スクールカウンセラーが学校に来る日数を増やすといい。 (類似意見5件)	小学校でスクールカウンセラーに小学校相談できる時間を倍以上にしました。今後もスクールカウンセラーに相談しやすい体制づくりを進めていきます。
スクールカウンセラーをもっと周知すべき。 (類似意見2件)	学校では、スクールカウンセラーについて学校だよりで紹介したり、スクールカウンセラーだよりを発行したりと、様々な工夫をしていますが、教育委員会としても学校と連携して広く知ってもらうように努力していきます。
週に1回全生徒とスクールカウンセラーが一对一で会うようにすれば相談できると思う。	スクールカウンセラーは、およそ週に1回の勤務なので、全生徒と会うことは難しいですが、相談しやすい体制づくりを進めていきます。
いじめの話を聞いてくれる人がいるといいと思う。 (類似意見2件)	学校には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、先生以外の大人がいますので、困ったときには、相談しやすい人にぜひ相談してください。
スクールカウンセラーと話しやすいように、授業での交流などを増やすといい。	スクールカウンセラーが先生などと連携して授業をすることもあるので、その機会があれば積極的に参加してください。
スクールカウンセラーへの相談が授業中だと周りに知られてしまうので放課後や休み時間に相談に行けたらいい。	スクールカウンセラーに放課後や休み時間に話ができるかどうか、直接スクールカウンセラーや相談しやすい先生に相談してみてください。
いじめられている人がすぐに相談できるように、学校などに心の相談室を作ってほしい。	どの学校においてもいじめられている人がすぐに相談できる体制は整えているので、困ったときは相談しやすい先生方やスクールカウンセラーなどに相談してください。
いじめの解決の責任は教育委員会にあると思うので、なにかあれば教育委員会に相談してほしいと明言すべきだと思う。 (類似意見1件)	学校は、常にいじめの相談を受け付けているので、困ったことがあれば、学校に相談できますが、相談しにくい時は、タブレット端末のブックマークには、教育委員会を含む札幌市の様々な相談窓口があるので、気軽に相談してください。

5 再発防止策の検証	
全てを学校に任せるのではなく、いじめ対処の専門組織を作ると、解決がスムーズになると思う。	札幌市には、様々な専門家がいじめの防止などを話し合う組織があります。学校や教育委員会の取組については、その組織に報告して必要な改善をしていきます。

### 第3章 いじめの防止等のために学校が実施する取組

皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
<b>1 学校いじめ防止基本方針の策定</b>	
いじめがなくなることはないので、いじめが大きくなる前に児童生徒の意見を聞くほうが良いと思う。 (類似意見1件)	札幌市では、子どもの声を聴くことを大切にしています。学校においても、学校の方針について意見を聴いたり、自主的な活動を通していじめについての意見を取り入れるなどの取組を進めています。
基本方針に書かれていることについての具体的な活動を紹介したり、推進したりしたほうが良いと思う。 (類似意見1件)	学校は、市の方針を参考にして自校のいじめの取組を示した基本方針を作ることとなっています。学校の基本方針は、入学時や年度の初めに児童生徒や保護者に説明することとしています。
小さな子(小学校1年生など)でも分かるようにまとめると、もっと沢山の方が見てくれると思う。	学校では、入学時や年度の初めに、どの学年の子どもにも学校の基本方針がわかるように説明することにしています。
<b>2 いじめの防止等の対策のための組織の設置</b>	
先生がしっかりと教室を見て、適切な注意を行うべき。 (類似意見6件)	いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりのために、先生などが複数の目でいじめを見逃さないようにし、組織的に対応することとしています。また、皆さんがいじめを見たときには、周りの大人に知らせてください。
クラスに監視カメラを設置するとよい。 (類似意見6件)	学校の中に監視カメラを設置することは、プライバシー保護の関係から難しい問題があります。いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりのために、先生などが複数の目で組織的に対応することにしています。また、皆さんがいじめを見たときには、周りの

	大人に知らせてください。
いじめがいじめでないかのギリギリをねらって行う人もるので、定期的に厳しくしたほうがいい。 (類似意見2件)	先生方は、何がいじめにあたるのかについての考え方を、学校全体で共有することとしています。いじめは「しない・させない・許さない」を徹底します。
いじめが起こらないように、みんな平等に接することを意識できる取組を行うといい。 (類似意見2件)	札幌市では、お互いに個性、多様性を認め合い、偏見や差別をなくし、支え励まし合う温かい人間関係の中で取り組む「人間尊重の教育」を大切にしています。皆さんも自治的な活動などを通して、前向きに取り組んでください。
クラスの上下関係がなくなればいい。 (類似意見6件)	札幌市では、お互いに個性、多様性を認め合い、偏見や差別をなくし、支え励まし合う温かい人間関係の中で取り組む「人間尊重の教育」を大切にしています。また、他の人とのコミュニケーションを図る社会性を育てるために、学校では道徳教育を大切にしております。皆さんは自治的な活動などを通して、お互いを認め合う人間関係を大切にしたいと思います。
クラスや学年でみんなと交流する時間を増やすといい。	学校では、心の通じ合うコミュニケーションにより、授業や行事に前向きに参加したり、活躍したりできるような、授業づくりや集団づくりが行われるように取り組みます。
いじめられないために、友達を作らず、友達と関わらないようにする。	札幌市では、お互いに個性、多様性を認め合い、支え励まし合う温かい人間関係の中で取り組む「人間尊重の教育」を大切にしています。ぜひ、様々な友達とかけがえのない時間を過ごしてほしいと思います。
みんなでいじめを起ささない環境をつくっていきたい。 (類似意見5件)	いじめられている人の気持ちや、いじめを見て見ぬふりをすることがいじめを深刻にしています。いじめのしくみを理解することで、いじめが起きない環境を作り上げることができると思います。周りで困っている人がいれば、周りの大人に伝えてください。
いじめと誤解されないよう、強い言い方をしないほうがいいと思う。	学校では、いじめかどうかについて理解し、いじめを防止する取組を通して、お互いを認め合うような人間関係を育てるように取り組めます。

<p>学校でのストレスとか、その人への不満があるからいじめが起きると思うので、相手にやめてほしいことなど、学校で正直に嫌なことを伝えられる環境を作ったほうが良いと思う。</p>	<p>嫌なことは相手に伝えるのは大切なことです。しかし、伝えるには勇気が必要で、どのように伝えればよいのか迷う時もあると思います。学校ではそのような時に、先生などに相談しやすい環境を作るように取り組みます。</p>
<p>過去にあったいじめのせいで起こった事件等について、授業等でみんなに知らせたいじめの怖さを教えるといい。 (類似意見2件)</p>	<p>学校では、過去に起こったいじめを考えながら学校の取組を良くしていきます。それらを基にして、先生方はいじめを防止するために、皆さんに様々な働きかけを行います。</p>
<p>関係が良くない人とは、座席を離すというと思う。</p>	<p>札幌市では、お互いに個性、多様性を認め合い、支え励まし合う温かい人間関係の中で取り組む「人間尊重の教育」を大切にしています。しかし、関係がよくない友達との問題で悩む場合には、どうしたらよいかについて、話しやすい学校の先生などに相談してください。</p>
<p>学校の体制にも変化が必要だと思う。思いやりのある環境であれば、子どもは思いやりを大事にする。先生などが余裕を持てるような制度改革を強く望む。</p>	<p>学校では、自治的な活動を通して、お互いを認め合う人間関係を育むことを大切にしています。また、タブレット端末などを活用することで仕事を効率化したり、学校全体で対応したりすることで一人の先生に大きな責任や負担をかけない取組を進めます。</p>
<p>いじめられたときに、周りに相談できるようにしたらいいと思う。 (類似意見7件)</p>	<p>学校は先生などが組織として、いじめの相談を受けますので、困ったときは話しやすい先生や保健室の先生、スクールカウンセラーなどに相談してください。また、タブレット端末などのブックマークには、札幌市の様々な相談窓口のページがあります。</p>
<p>いじめを見かけたら、すぐに大人に伝えようと思う。</p>	<p>いじめを見た人がいじめられた人の相談者になったり、いじめを止めさせることはできなくても、誰かに知らせたりすることはとても大切なことです。</p>
<p>いじめを見たりしたら先生や大人の人に相談してすぐに対応できるようにしてほしい。</p>	<p>いじめを見たりしたらすぐに先生や大人に相談してください。先生などは、一人ではなく複数の先生などが組織的にいじめられた人を守るように対応します。</p>
<p>いじめを見ても周りの人に言いにくいので、もっと言いやすい環境にしてほしい。</p>	<p>いじめを見たら担任の先生だけではなく、話しやすい先生や保健室の先生、スクールカウ</p>

(類似意見7件)	ンセラーなどに相談してください。また、今後、タブレット端末などに導入するアプリでもいじめの相談を受けられるようにする予定です。
気軽に相談できて信頼できる人をつくりたい。 (類似意見2件)	学校は、複数の先生などでいじめに対応することになっているので、担任の先生だけではなく、話しやすい先生に相談してください。また、保健室の先生やスクールカウンセラーなどにも相談してください。
学校でいじめがあったら、紙に書いて報告できるボックスをつくるといいと思う。 (類似意見2件)	学校によっては、そのような取組をしていると聞いています。今後、タブレット端末などに導入するアプリでは、いじめを相談したり報告したりできることを予定しています。
親や先生には相談しにくいことを相談できる場所のチラシを、もっと分かりやすくしたらいいと思う。 (類似意見1件)	皆さんの中でいじめられたときに「だれにも相談しない」人もいるので、いろいろな相談窓口を分かりやすくお知らせすることにします。
いじめられた子が安心して先生に言えるようなシステムをつくってほしい。 (類似意見4件)	今後、タブレット端末に、毎日の健康観察を行うことと、アンケートをとることができるアプリを導入する予定です。また、簡単にいじめの相談ができるようにする予定です。
<b>3 いじめの未然防止</b>	
一人一人が、自分がやられて嫌なことはしないという意識を持ち、いじめをなくそうという意識をすることが大切だと思う。 (類似意見 11 件)	札幌市では、お互いに個性や多様性を認め合い、支えはげまし合う「人間尊重の教育」を大切にしています。学校では何がいじめにあたるかを確認し、いじめられている人の気持ちを理解できるよう取り組んでいきます。
いじめに気付いた人が指摘することで、次のいじめのターゲットになるということもあるので、傍観者も含めて一緒にやっていじめに対処していくことが大事だと思う。 (類似意見2件)	いじめの防止のためには、周りではやし立てたり面白がったりせず、また、傍観者として知らないふりをせずに、相談者になったり、いじめを止めることはできなくても、誰かに知らせることが大切です。
周りで困っている人がいたら、声をかけてあげたりするなど、子ども側も積極的に助ける意識を持つような取組を行ってほしい。 (類似意見1件)	周りで見ている人が相談者になったり、いじめを止めたりすることはできなくても、誰かに知らせることでいじめを防ぐことができます。学校では、そういう雰囲気がつくられるように取り組みます。

<p>みんなが明るく楽しく暮らせるようにしてほしい。 (類似意見 11件)</p>	<p>学校では、心の通じ合うコミュニケーションにより、授業や行事に前向きに参加したり、活躍したりできるような、授業づくりや集団づくりが行われるように取り組みます。</p>
<p>ペア活動等は一人になることもあるので、一人にならない授業内容にしてほしい。</p>	<p>学校では、心の通じ合うコミュニケーションにより、授業や行事に前向きに参加したり、活躍したりできるような、授業づくりや集団づくりが行われるように取り組みます。授業の内容で、不安なことがあれば、先生に相談してください。</p>
<p>いじめはなくならないと思うので、リモート授業にしたらいい。</p>	<p>札幌市では、リモート授業だけでは体験することができない、お互いに個性、多様性を認め合い、支え励まし合う温かい人間関係の中で取り組む「人間尊重の教育」を大切にしています。学校はそのような取組を大切にしてい、いじめが起きにくい環境づくりに取り組みます。</p>
<p>問題を解決しても学校への居場所がなくなるときもあるので、居場所を作ることが大切だと思う。</p>	<p>学校では、保健室の先生と話をすることや、教室ではない場所でスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに相談することもできます。</p>
<p>正しいインターネットの使い方をすべき。 (類似意見2件)</p>	<p>これからもインターネット上での誹謗中傷の書き込みは、犯罪行為にもつながる可能性があることなど正しい使い方について指導していきます。</p>
<p>インターネットを使わないといいと思う。</p>	<p>インターネットは正しく使えばとても便利です。しかしながら、インターネット上での誹謗中傷の書き込みは、犯罪行為にもつながる可能性があります。今後も、正しい使い方について指導していきます。</p>
<p>警察がいじめ防止教室を開くといい。</p>	<p>警察官が講師となって行う防犯教室の中で、いじめに関係することをお話ししてくれています。学校でもいじめが起こったら、警察に相談しながら対応することもあります。これからもいじめの未然防止のため、必要なときに警察と協力していきます。</p>
<p>いじめ行為については、もっと厳しい言い方で記載すべき。 (類似意見4件)</p>	<p>例えば道徳の授業では、いじめを防ぐための法律について学習するなど、いろいろな教科や視点から「いじめは絶対に許されない」こ</p>

	とについて学びます。
いじめをした人に賠償金とかを払わせる法律を作れば、いじめがかなり減ると思う。 (類似意見2件)	いじめを防ぐことについては、いじめ防止対策推進法という法律があり、いじめられた人の心のケアはもちろん、いじめた人への心の教育や二度といじめを起こさないための指導をすることとなっています。
どのようなことがいじめを起こさない取組につながるのか具体的に記載してほしい。	いじめがあれば、一人の教員で対応しないよう、複数人でいじめられた人を守るように取り組みます。学校では、「いじめは絶対に許されない」という考えを学校全体でしっかり守るために、年に数回、先生などの勉強会を行うこととを本書に記載しています。
差別がない学校にしたい。	誰に対しても平等に関わることはとても大切なことです。学校では、「いじめは絶対に許されない」という考えをしっかりと守り、子どもたちがお互いを認め合い、支え合う心をもつことができるよう関わっていきます。
自主的な活動は個人でもできて効果もありそうなのでいいと思う。	自主的な活動は、子ども一人一人の「〇〇したい」という意欲をもつことから始まります。学級や学校をどうしていきたいのかを考え動くことを大切にしています。
いじめの防止に向けて、みんなで話し合い、ポスターや標語の作成などの取組を行うといいと思う。 (類似意見49件)	札幌市の学校では、子どもの思いや願いをかなえるために、みんなで話し合い、協力して取り組む活動を大切にしています。いじめの防止について、学級や学校で話し合い、よりよい方法を考えて動いてみてください。先生や周りの大人は、みなさんを支援します。
人の得意なことや、良いところを見つけることができる授業や時間をとることや、誰かを一人にしない取組があるといい。 (類似意見1件)	札幌市では、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりを進めています。日常の授業においても、互いを尊重し、友だちの得意なところや良いところを認められるように進めます。
いじめなどをしないように、心掛けるためにはどうしたらいいのかを考えられない人のために、いじめ禁止のポスターを、全国の学校に配布したらいいと思う。	毎年、「全国いじめ問題子供サミット」が開催され、全国の小中学生が学校の工夫を凝らしたいじめ問題に対するたくさんの取組が交流されています。昨年度は日章中学校の生徒が参加しました。これからも札幌市の取組を全国に発信していく方法を考えます。
学校にもよるが、生徒会などが中心に行	札幌市では、「さっぽろっ子サミット」として、

<p>っている「いじめ防止運動」に札幌市教育委員会が目を向け、後押しすることで、より効果的なものにできると思う。</p>	<p>全市の子どもたちが1つのテーマについて話し合う場を設定しています。このサミットの企画・運営も子ども運営委員です。このような取組を支援していきます。</p>
<p>道徳の授業においていじめについて考える題材を出し、ポスターや標語によっていじめにはいけないことだということを再確認する場にすることが効果的だと思う。</p>	<p>道徳の授業では、すべての学年でいじめについて考える活動を通して、友だちを思いやる心や、命を大切に作る心などを育てていきます。</p>
<p>先生の対応が悪いので、いじめをなくすためには、まずは先生の対応を見直すべきだと思う。その後、児童・生徒にいじめられていないか個別に確認すると思う。</p>	<p>先生方には、子どもたちから信頼されるように豊かな人間性を高めるなど、いつも自分を高めるように努力することが求められています。また、いじめがあった場合には、先生などが複数人でいじめられた人を守るように取り組みます。</p>
<p>感情だけで行動しないことを理解する取組を実施することで、いじめを減らすことができると思う。</p>	<p>学校では、子どものストレスへの対処方法などの授業を、スクールカウンセラーと連携して行うようにしています。</p>
<p>いじめをなくすという意思をもち、いじめを見捨てない取組を行ってほしい。</p>	<p>学校では、「いじめは絶対に許されない」という考えを学校全体でしっかり守るために、年に数回、先生などの勉強会を行うこととしています。そして、いじめがあれば、複数人でいじめられた人を守るように取り組みます。</p>
<p>生徒を嫌なあだ名で呼び、いじめる先生がいるときには懲戒免職にするなど、先生が生徒をいじめている行為があった場合に対しての罰則化を行ってほしい。 (類似意見4件)</p>	<p>先生の言動が、子どもを傷つけたり、他の人によるいじめを助長したりすることのないよう細心の注意をしていきます。先生のごことで困った場合には、他の先生や相談窓口にご相談してください。</p>
<p>隠蔽しようとする教師もいるので、子どもが信頼できる大人になるべきだと思う。 (類似意見25件)</p>	<p>皆さんから信頼されるよう、方針の19ページに「全ての教職員が『いじめは絶対に許されない』、『いじめられた児童生徒や情報を提供してくれた児童生徒を守る』という姿勢を共有し、児童生徒が教職員を信頼し、見守られているという安心感をもって学校生活を送ることができるようにする。」という文を追記しました。</p>
<p>先生の男女差別をやめてほしい。先生の男女での対応がまるで違う。 (類似意見5件)</p>	<p>どの子どもに対しても公正で公平に接することは大切なことです。先生方には、子どもたちから信頼されるよう豊かな人間性を高</p>

	めるなど、いつも自分を高めるように努力することができる取組を進めていきます。
いじめを行う子どもが悪いのは分かるが、先生が怒鳴って、子どもが怯えていじめた理由などを答えられないという場面を見たことがある。怒鳴ったり脅したりしてなぜやったのかなどを吐かせようとするのは逆効果だと思うから先生を指導してほしい。 (類似意見4件)	先生方が子どもを理解して指導することは大切なことです。そうすることができるように、学校内での勉強会を行って、先生などの対応力を高められるような取組を進めていきます。
大人に、近くにいてほしい。 (類似意見4件)	子どもたちのSOSを早期に把握するため、一人ではなく全ての先生などが連携して、ていねいに子どもたちの見守りを行うこととしています。
先生は近くにいるけれど、いじめられた子といじめた子で話し合い、その後先生が入ったり、当事者での話し合いが進まなければ先生が入るという方法を取るといいと思う。	お互いを理解するために話しあうことは大切なことです。また、いじめについては、学校が複数人で対応することになっているため、必ず先生なども話し合いに参加し、両方の保護者にも伝えていきます。
教員がいじめを止めようとしなかったら教員免許を剥奪するといい。	いじめがあれば、一人ではなく複数の先生などでいじめられた人を守るように取り組みます。学校では、「いじめは絶対に許されない」という考えを学校全体でしっかり守るために、年に複数回、先生などの勉強会を行うこととしています。
いじめが起きても自分から言い出しにくいので、こまめに色々聞いてほしい。 (類似意見4件)	子どもたちのSOSを早期に把握するため、全ての先生などが連携して、ていねいに子どもたちの見守りを行うこととしています。先生などがいじめを早期発見できるように積極的に声をかけるなどの取り組みを進めます。
学校で嫌な事があった時、親に話すと、親は「無視をして」と言うが、それが本当に良いのか、迷ってしまう事が多い。自分としては、本当に無視をして良いのかを、少しでも良いから、親に考えてもらいたいと思う。	札幌市では、お互いに個性、多様性を認め合い、偏見や差別をなくし、支え励まし合う温かい人間関係の中で取り組む「人間尊重の教育」を大切にしています。また、他の人とのコミュニケーションを図る社会性を育てるために、学校では道徳教育や自治的な活動を大切にしています。学校で取り組んだことを、ぜひ、ご家族と一緒に考えてみてく

	ださい。
自分は冗談だと思っても、相手が嫌だと思うかは自分で気付きにくいので、その解決方法を知りたい。 (類似意見4件)	学校では、いじめに当たる行為についての考え方を全体で共有し、いじめを防止する取組を通して、互いを認め合う人間関係を育みます。悩んだときは、相談しやすい学校の先生に何がいじめに当たるのかについて相談してください。
いじめが起きる理由は、何かしらのトラブルがあるからだと思うので、お互いの意見を認めることが大切だと思う。 (類似意見3件)	お互いを認め合うことは大切なことです。学校では、お互いを認め合う人間関係を作ることができるよう、子どもたちが主体的に考えて話し合うなどの期間を設けるようにしています。
いじめの現状を深く知り、自分に身近なことであることを自覚し、いじめの深刻さを知ることができる取組を行うといい。 (類似意見 16 件)	いじめは、どの子どもにも、どの学校にでも起こりうることであり、いじめをなくすためには、皆さん一人一人が、他人を理解し尊重することが大切です。学校では、いじめに当たる行為についての考え方を全体で共有し、いじめを防止する取組を通して、互いを認め合う人間関係を育みます。
「いじめられている」と素直に言える人は少ないと思う。担任を信用して話したのに広められた経験があるため、先生にきちんと守秘義務を守ってもらうなど、「先生」というものの意識を変える対策をしてほしい。 (類似意見1件)	いじめの相談をした子どもに寄り添い、安全・安心を守ることは大切です。先生などの勉強会を開いて、いじめの問題に対する理解や対応する力を高められるように努めていきます。
困ったときに相談することも難しい人もいるから相談しやすい環境にしてほしい。 (類似意見2件)	子どもが相談しやすい環境を整えることは大切です。スクールカウンセラーなどの専門家とも連携しながら、学校における相談体制がさらに充実するようにします。
学校に相談しても、どうやっていじめをやめさせてくれるのかが分からない。	学校では、いじめの問題に対応するための組織において、見守りなどの確実な安全確保の計画を立てて、いじめられた子どもが安心して学校生活を送ることができるよう支援していきます。また、いじめた子どもが抱える問題にも目を向けて指導を行います。
いじめられている人は、相談できないことが多いので、取組方法を変えた方がいいと思う。	皆さんが自ら SOS を発信することは、とても勇気のあることです。皆さんからの相談を待つだけでなく、先生などの日々のきめ細

	やかな観察やタブレット端末などを活用するなど、いじめを見逃さない取組を強化します。
先生に相談すると、もっといじめが酷くなるという恐れがあるので、いじめが酷くならにように警備する人がいるといい。	学校では、いじめられた子どもや情報提供をしてくれた子どもを守ることを最優先に対応していくこととしています。安心して学校生活を送ることができるよう、見守りなどの確実な安全を確保する計画を立てて学校全体で支援していきます。
いじめを受けた人がすぐに先生などに相談できる環境にしてほしい。	①学校では、全学校が取り組む「悩みやいじめに関するアンケート調査」の他、学校独自アンケートや皆さんとの面談を計画的に実施したり、タブレット端末などを活用したりして、皆さんの小さな変化や心配なサインを見逃さないようします。 ②いじめ防止に関する教育を通して、いじめが重大な人権侵害であることや、いじめられた子どもの気持ち、いじめへの対処等、いじめに関する理解を深める取組を進めます。
いじめをしている友達のことを担任に報告したら、自分が仲間はずれにされそうで怖くて言えてない子もいるので、そんなことはないということも伝えてほしい。	学校では、いじめの問題に対応するための組織をつくり、担任の先生だけではなく、学校全体で皆さんからのいじめの相談に応じます。また、いじめられた子どもや、友達のいじめについて相談してくれた子どもを守ることを最優先にしていきます。
学校で先生と一対一で相談に乗ってほしい	学校では、全学校が取り組む「悩みやいじめに関するアンケート調査」の他、学校独自アンケートや面談を計画的に実施したり、タブレット端末などを活用したりして、子どもの小さな変化や心配なサインを見逃さないようします。また、子どもが相談しやすい環境を整えていきます。
先生が心配してくれるのは嬉しいけれど、何回も聞かれたり、大丈夫とか言われたりすることがあると、相談しづらいと思う。	子どもの気持ちに寄り添い、タブレット端末なども活用しながら、安心していじめの相談ができるようにします。
いじめボックスを作り、なにか嫌なことをされたら、紙に嫌だったことと、自分の名前と、相手の名前を書き、先生が1日の最	学校では、全学校が取り組む「悩みやいじめに関するアンケート調査」の他、学校独自アンケートや面談を計画的に実施したり、タブレ

後にみて次の日相談するという取組がいいと思う。	ット端末などを活用したりして、子どもの小さな変化や心配なサインを日々見逃さないようにします。
いじめを見たときにすぐに誰かに言える環境をつくったほうがいい。(誰がいじめの通報を分からないような環境)	学校では、いじめの問題に学校全体で対応するための組織をつくって、皆さんからの相談にいていねいに応じます。また、いじめの相談窓口をわかりやすく伝えられるようにします。
いじめを相談する人がいなかったり、相談しても対策を取ってもらえない人がいたりするので、今挙げている取組のほかに、その部分の対策をしっかりとしてほしい。	学校では、いじめの問題に学校全体で対応するための組織をつくり、子どもからの相談にいていねいに応じます。また、いじめの相談窓口もわかりやすくお伝えするようにします。
生徒がいじめられたり嫌なことをされたりしたら、教師や大人に相談することを呼びかけるといい。	いじめを受けた時にどうしたらよいかわかるように、皆さんに伝えていきます。
生徒の言うことを9割9分信じることをしたほうが良いと思う。	皆さんの話をいていねいに受け止めて、気持ちに寄り添うことはとても大切です。先生などの勉強会などを通して、子どもを理解する力を高め、上手に相談をうけられるようにします。
先生に相談してもどうしようもないときは、どうしたら良いのか教えてほしい。	学校では、いじめ対策組織をつくり、いじめに気づいたら一人の先生だけではなく学校全体でいじめの対応を行うことになっています。スクールカウンセラーや保健室の先生や他の先生に相談することもできます。
いじめアンケートはよい取り組みだと思うが、書きづらさや周りに合わせてしまう人もいると思う。先生などとの面談を増やしたり、保健室で相談をすることの大切さ、また、それは決して悪いことではないと発信してくれると嬉しい。	アンケート以外にも、計画的な面談や、タブレット端末などを活用したりして、皆さんの小さな変化や心配なサインを見逃さないようにします。また、担任の先生だけではなく、保健室の先生やスクールカウンセラーなど、さまざまな職員に相談することも大切なことだと繰り返し皆さんに伝えていきます。
<b>4 いじめの早期発見</b>	
もっと学校を楽しくしてくれるアプリがあるといい。 (類似意見 2 件)	タブレット端末などで心や体の調子がわかるようにします。ぜひ使ってください。
健康観察はする必要がないと思う。	悩みや困りを抱えていると自分で気付かな

	<p>うちに体調が変化します。心の変化は体調の変化として表れることがあります。この変化に自分でも気づき、周りも見逃さないようにするためにも健康観察を継続することが重要です。</p>
<p>いじめ防止に向けた動画やタブレット端末などを活用して、児童、生徒に呼びかけるといい。</p>	<p>アンケートについては、学校独自のアンケートと教育委員会が行うアンケートがあります。今後は、タブレット端末なども活用して、相談したいときに相談しやすい先生などに相談できるような工夫をしていきます。</p>
<p>常時書き込める学校のいじめ報告サイトとかを作れば、いじめの疑いがある行為があったときにすぐ書き込むことができ、出来事の詳細を知ることができたり、周りの人がすぐに報告できたりするのでもいいと思う。</p>	<p>いじめの疑いがあればすぐに相談しやすい先生などに相談してください。また、いじめの疑いがある場合には地域の方にも情報をもって解決に向けた働きかけをします。</p>
<p>いじめが起こらないようにするのではなく、いじめが起きづらい環境にするほうがいいと思う。そのために学校での授業などをクラスみんなで協力してやるような授業にしたり、タブレット端末などを活用して先生と一対一で喋られるような取り組みをするようにしたらいいと思う。</p>	<p>札幌市の学校では、皆さんの思いや願いをかなえるために、みんなで話し合い、協力して取り組む活動を大切にしています。いじめの防止について、学級や学校で話し合い、よりよい方法を考えて動いてみてください。タブレット端末なども活用しながら先生や周りの大人は、皆さんを支援します。</p>
<p>アプリで、新しいいじめのアンケートを取ってほしい。 (類似意見 3 件)</p>	<p>タブレット端末などを活用するなどして、1人1人の悩みや困りを把握したり、相談しやすい先生などに相談できるように工夫していきます。</p>
<p>キッズケータイのところに相談窓口をつくったりするといい。</p>	<p>タブレット端末などのブックマークには、様々な相談窓口のページを入れていますので、ぜひ活用してください。</p>
<p>匿名アンケートなどで定期的に情報を集めるといい。</p>	<p>学校では、すべての学校が行う記名式のアンケートの他に無記名アンケートなど学校独自アンケートを行うこととしており、いじめを早いうちから見付けることができるように取り組んでいます。</p>
<p>いじめアンケートなどは、年に数回から月に2回程度に頻度を増やしたほうが、早いいじめを発見できていいと思う。 (類似意見 42件)</p>	<p>タブレット端末などを使って、日常の健康観察やいじめに関するアンケートを行うなど、不安や悩みを早いうちに見付けることができるようにします。アンケートをした後は、ア</p>

	ンケートの結果などについて先生などが集まって話し合いをします。また、不安や悩みについては、心理の専門家であるスクールカウンセラーに相談することができます。
いじめが起きていないか、一人一人に聞いたらいいと思う。	学校では、タブレット端末などを使って、毎日の健康観察やいじめに関するアンケートを行うなど、不安や悩みを早いうちに見付けることができるようにします。更に、お家や地域の人たちと協力しながら、みんなでいじめを防いでいくことが大切です。
いじめアンケートを、より細かく作るべきだと思う。	学校では、すべての学校が行う記名式のアンケートの他に無記名アンケートなど学校独自アンケートを行うこととしており、いじめを早いうちから見付けることができるように取り組んでいます。
アンケートをとっても本当のことは言わない気がするから、アンケートは意味がないと思う。	いじめについては、アンケート結果のほか、日常の様子や学習の記録などを確認したり、スクールカウンセラーなどの専門家に話を聞いたりして、いろいろな視点からいじめを見付けるようにしています。
大人の世界でもいじめはあるので、大人にもアンケートを実施したらいいと思う。	大人であってもいじめをしてしまうことはとても残念なことですし、アンケートなどを用いて心の中を表すことは、大人にも必要かもしれません。もし、周りでいじめられている人がいたら、声をかけたり信頼できる大人に相談したりして、助けてください。
相談しやすい環境とは、どのようなことなのか、具体的に方針に記述してほしい。 (類似意見 12 件)	子どもが安心して相談しやすい環境について、方針の 22 ページに「自分から相談できない児童生徒もいることから、教職員からの声かけに加え、子どもが相談しやすい信頼できる大人に相談できることや、様々な相談窓口があることについて、繰り返し周知に努める。」という文を追記しました。
先生が、もっと一人一人の生徒のことも見てくれたら生徒にとってもっといい学校生活をおくることができると思う。 (類似意見 1 件)	安心して学校生活を送れるようにタブレット端末などを活用するとともに、養護教諭やスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも含めた全職員で見守りをします。
いじめが起こらないようにするのは現実的でないので、いじめが起きたときに少	1人1人のSOSに気付くためにタブレット端末などを活用するとともに、保健室の先生や

<p>しでも早く気付くためにはどうしたらよいのかということに力を入れたほうがいい。 (類似意見2件)</p>	<p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも加えた全職員で見守りをします。いじめを見逃すことがないように、解消に向けても学校いじめ対策といった組織で判断することを徹底します。</p>
<p>いつもは元気なのに元気がないときや暗い子などをみたら先生や大人から声をかけてくれるといい。</p>	<p>悩みや困りを抱えていると自分で気付かないうちに体調が変化することがあります。この変化に気付き、見逃さないようにするためにタブレット端末などを活用し、保健室の先生やスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも含めた全職員で見守り声を掛けますので安心してください。</p>
<p>先生が今よりもいじめに気付くことができるように、なるべく教室にいたらいいと思う。 (類似意見5件)</p>	<p>いじめは、見えにくく気付きにくい場合もあります。教室でみなさんの様子を見守るとともに、タブレット端末などを活用するなど、保健室の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも加えた全職員で見守ります。</p>
<p>1、2 ヶ月に一回程度、先生などが一人一人にいじめの有無について聞いてくれるといいと思う。 (類似意見2件)</p>	<p>タブレット端末などを活用するなどして、1人1人の悩みや困りを把握したり、相談しやすい先生などに相談できるようにします。</p>
<p>いじめた生徒がいるクラスでは、先生がこんな事件、いじめがあったと教えたほうがいいと思う。 (類似意見1件)</p>	<p>学校では、「いじめは絶対に許されない」という考えを学校全体でしっかり守るために、年に数回、先生などの勉強会を行うこととしています。また、札幌市の学校では、子どもの思いや願いをかなえるために、みんなで話し合い、協力して取り組む活動を大切にしています。いじめの防止について、学級や学校で話し合い、よりよい方法を考えて動いてみてください。</p>
<p>もっと先生が関わるといい。 (類似意見26件)</p>	<p>1人1人の発するサインを見逃さないように、タブレット端末などを活用しながら悩みや困りに気付き、安心して学校生活が送れるように対応します。担任の先生だけではなく、保健室の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも含めた全職員で見守るので、皆さんが話しやすい先生などと相談することもできます。</p>

<p>教師が、きちんといじめをする子に対して注意し、できるだけ早くいじめを無くせるようにしてほしい。</p> <p>いじめられていると感じている子に対して、どんな些細なことでもいじめだと思ったらそれにあった対応をしてほしい。</p> <p>(類似意見3件)</p>	<p>いじめの疑いがある場合には、すぐに先生たちが複数で情報を共有して、いじめの判断をします。関係の友達から聞き取りを行う先生やいじめられた子の心のケアをする先生など役割分担をして安心して過ごせるように対応します。</p>
<p>先生と1対1で話す時間を増やすといい。</p> <p>(類似意見6件)</p>	<p>学校ではタブレット端末などを活用して、健康観察や悩みや困り関するアンケート実施します。この他にも、毎日の健康観察から心と体の調子の変化を複数の先生で確認して声を掛けますので、相談しやすい先生にいつでも相談してください。</p>
<p>いじめに気付いた子どもが先生などの大人に報告しやすい環境を作るべき。</p>	<p>悩みや困りを伝えやすい学校独自のアンケートを実施し、その後に話を聞く時間を確保しています。また、1人1人のSOSに気付くためにタブレット端末などを活用するとともに、保健室の先生やスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも含めた全職員で見守りをしています。困った時には、相談しやすい先生などに相談してください。</p>
<p>5 家庭・地域との連携</p>	
<p>悩みを相談したいけど相談できない、話すのが怖いと思う子もいると思うので、悩みを相談しやすい環境を、学校だけでなく家庭にも作ることが大切だと思う。</p>	<p>いじめのない社会にするために、学校は家庭や地域と共有して、社会総がかりでいじめの防止に取り組むこととしています。悩みを家族に相談しやすくなるように、学校の取組を家庭にも発信するなどの取組を進めます。</p>
<p>7 いじめの見逃しや一部の先生などによる抱え込みを防ぐための取組</p>	
<p>子どもたちを守るのが大人なのに、見て見ぬふりをしている教師も少なくない。まずそこを改善してほしい。</p> <p>(類似意見 4 件)</p>	<p>1人1人のSOSに気付くためにタブレット端末などを活用するとともに、保健室の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも加えた全職員で見守りをします。いじめを見逃すことがないように、解消に向けても学校いじめ対策組織で判断することを徹底します。</p>
<p>学校がいじめを隠蔽しないようにすべき。</p>	<p>学校がいじめを把握した場合は、いじめ対策組織で情報を共有し、チームでいじめの解消</p>

	に向けて取り組みます。学校がいじめを隠すことはありませんが、学校以外で相談できる窓口を皆さんにお知らせしていきます。
--	--

#### 第4章 市立学校におけるいじめへの対処の確認

皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
<b>第4章の全体に対して</b>	
いじめ対策として、もっと実践的な内容を記載すべき。 (類似意見 3 件)	「札幌市いじめの防止等のための基本的な方針」では、個別のアセスメントシートを活用することや内容を引き継ぐこと、いじめ対策チームのメンバー構成、月1回のいじめ対策の会議の開催など、具体的に定めています。さらに、各学校で「いじめ防止基本方針」を作り、いじめを知ったときに誰がどのように対応するかなど、各学校の実態に合わせて具体的に対応できるように考えていきます。
いじめをしている側、いじめられている側の両方の意見も聞くことを増やしたらいいと思う。 (類似意見1件)	学校がいじめを知ったときには、アセスメントシートを使い、いじめた側、いじめられた側の話をしっかり聞いて、いじめがなくなるようにします。いじめられた子やいじめを教えてくれた子をしっかりと守ることも大切にしています。
いじめが起きたらその日その場所で解決したらいい。 (類似意見2件)	学校はいじめができるだけ早く解決できるように取り組みますが、いじめた側、いじめられた側の話をしっかり聞いて、先生などでよく話し合って解決します。そして、二度といじめが起きないように先生などで見守りを行います。
「しない・させない・許さない」を徹底の「許さない」はだめだと思う。いじめを許さない気持ちは大事だが、いじめた子といじめられた子がきちんと話し合って解決に向かったほうがいい。	いじめを「許さない」というのは、いじめはしてはいけないことだという気持ちをもつことです。ただ、いじめた側、いじめられた側の話をしっかり聞いて、話し合いですっきりと解決できるのが一番よいです。
自分がいじめられていることを大事にしたいくないと思っている子どもに対して、どのように対応するのか教えてほしい。	まずは、いじめられている子どもが安心できるように、子どもの話をよく聞いた上で、解決の方法を一緒に考えます。また、先生などが、一人に対応するのではなく、チームでい

	じめられた人を守るように取り組みます。
いじめに対する、先生や警察の対応を考えてほしい。	学校がいじめを把握した場合は、いじめ対策組織をつくって、チームでいじめの解消に取り組みます。警察に連絡した方がよいと学校が判断した場合は、警察と連携して解決に向けて取り組みます。
いじめられたら、保健室で勉強できるようにしたり、個室で勉強したりできるようにしてほしい。	学校は、いじめられた側やいじめを教えてくれた人をしっかりと守ることを大切にしています。いじめられた側の気持ちに寄り添って安心して学校生活を送れるようにします。
<b>1 事実関係の確実な把握といじめの認知</b>	
合言葉を決めても住民に浸透するとは思えない。どのような取組で住民に浸透することが可能になるのか。 (類似意見5件)	いじめのサインチェックシートを作成し、各学校へ配布しています。各学校では、チェックシートを家庭や地域、児童会館などに配布して情報を共有し、連携していじめ問題に対応できるようにします。
いじめている人にバレないように、登下校や校内での様子を見てあげてほしい。例えば、インターネット上のいじめなら、スクリーンショットを取っておくなどしてほしい。 (類似意見1件)	インターネット上のいじめに対しては、学校がいじめ対策組織でしっかりと事実確認をします。また、内容を記録した上で保護者見守りのもと書き込みや画像を削除するとともに、いじめの解消と心のケアにします。
<b>2 いじめられた児童生徒の安全・安心を確保</b>	
いじめが起きたときには、助けて全力でサポートしてほしい。(類似意見3件)	いじめを受けたときには、先生などがしっかりと悩みをきいて、同じことが起きないように複数の先生で見守りを行い、安心して学校生活を送ることができるよう支えます。
市教委はあくまでもいじめを黙殺した教師や加害者を保護しようとしたり黒塗りの文書を公表したりするのではなく、被害者とその家族を第一に尊重すべきだと思う。	いじめを受けた子どもの苦しみを、いじめた側に理解させ、その責任を自覚できるような指導を行い、いじめられた子どもの心配を聞き取るなどして、安心して生活できるように支えます。
いじめられていた子どもの心のケアをしっかりとほしい。 (類似意見2件)	保健室の先生やスクールカウンセラーと先生が相談しながら、いじめられた子どもの心配や不安を聞き取った上で、安心して生活できるように支えます。
いじめられている側はこれを書いたら	いじめられた子どもの見守りをしっかりと行

<p>っといじめられてしまうのではないかと いう不安があるので、他の生徒に伝わら ない方法を取ってほしい。 (類似意見 1 件)</p>	<p>い、同じことが繰り返されないように、先生 などで安全を守るための計画を立てて、いじ められた子どもが安心して学校生活を送る ことができるように支えます。</p>
<p>いじめられた人といじめた人が話すな ら、いじめられた人が「話したい」と言う まで待ってあげるべき。</p>	<p>保健室の先生やスクールカウンセラーと先生 方が相談しながら、いじめられた子どもの心 配や不安を聞き取りながら、その子どもの気 持ちに寄り添って解決につなげます。</p>
<p>いじめを受けたことがある。</p>	<p>いじめを受けたときは、すぐに担任の先生や 話しやすい先生、保健室の先生、スクールカ ウンセラーなどに相談してください。学校で は、先生などが複数人でいじめられた人を守 るように取り組みます。</p>
<p>いじめられる側にも何らかの原因があ ると思うので、適度な距離を保って生活し ていくことが大切だと思う。</p>	<p>いじめは、人権侵害行為です。そのため、い じめられている子どもにも責任があるとい う考えはあってはなりません。学校ではお互 いに個性や多様性を認め合うことで心豊か に生活ができるような取組を進めます。</p>
<p>いじめられたら、怪我の治療のために病 院に行くことができるようにしてほしい。</p>	<p>保健室の先生やスクールカウンセラーと先生 が相談しながら、いじめられた子どもの心配 や不安を聞き取ったり、怪我をした時には、 家族と学校が協力して病院に行けるよう に支えます。</p>
<p>3 いじめた児童生徒等への解決に向けた働きかけ</p>	
<p>いじめ人は何かしら理由があっ ていじめていると思うので、いじめの被害にあ った人だけでなく、いじめた人に理由を 聞いたり、家庭内の状況を確認するなど 大人が進んで行動すべき。 (類似意見9件)</p>	<p>いじめたという出来事にだけ目を向けるの ではなく、その子どもの悩みや不安を聴き取 り、一人一人の子どもに応じたていねいな指 導を行います。</p>
<p>いじめ人たちに対して、厳しい罰則を 与えるべき。 (類似意見4件)</p>	<p>いじめた子どもには、いじめを受けた側の苦 しみを理解させ、心から謝ることができるよ うに指導します。</p>
<p>いじめをしている人が、この方針を見て、 今からでもいじめをやめようと思ってく れるといい。傷ついた人の心は治らない けれど、今からでもやり直せると知って ほしい。</p>	<p>いじめた子どもが、いじめを受けた側の苦し みを理解し、心から謝ることができるよ うに指導します。その後、友人関係が改善で きるよう先生などで見守ります。</p>

(類似意見3件)	
いじめた本人が、きちんと反省するような取組を重視するべき。 (類似意見24件)	いじめた子どもは、いじめを受けた側の苦しみを理解し、心から謝ることができるように指導し、その反省を生かして生活できるように注意深く見守ります。
いじめた人が「その人の一生を左右にする、卑怯なこと」なんだということを理解する取組をしてほしい。 (類似意見2件)	いじめた子どもの保護者に事実を伝え、学校と協力しながら、いじめた子どもに、いじめを受けた側の苦しみを理解させ、心から謝ることができるように指導します。
いじめた人は、あまりいい育ち方してないと思うので、いじめた人への支援も大事だと思う。	学校では、「いじめは絶対に許されない」ことをみんなで学ぶことが大切です。家庭と協力しながら、いじめた子どもが、いじめを受けた側の苦しみを理解し、心から謝ることができるように指導します。
いじめた人に対して授業を行う等、いじめが許されないことであることを分かってもらえるまで何回も伝えるべきだと思う。 (類似意見2件)	学校では、「いじめは絶対に許されない」ことを学校全体で、何回も学ぶことが大切です。いじめた子どもが、いじめを受けた側の苦しみを理解し、二度といじめをすることがないように指導します。
いじめを見かけたら、すぐに止めるか大人に報告することが大事だと思う。 (類似意見6件)	いじめを見かけたら、すぐに担任の先生や信頼できる先生に相談することが大切です。いじめを早期に発見することで、解決が早まるだけでなく、いじめられた子の心の回復も早くなります。
いじめられた側の心のケアを重要としているが、いじめた側にも心の問題があると思うから、いじめた側の心のケアもできるようにしてほしいと思う。 (類似意見1件)	新年度から健康観察アプリを使用して、日頃から心身の様子を点検し、子どもたちのSOSを早くから見つけていきます。いじめたという出来事にだけ目を向けるのではなく、その子どもの悩みや不安を聴き取り、一人一人の子どもに応じたていねいな指導を行います。
大人が、いじめを絶対にしてはいけないということと、いじめを見たり聞いたりしたらすぐ大人に知らせるということを教えることが大切だと思う。 (類似意見4件)	「いじめは絶対に許さない」という考えを学校全体でしっかり守ることが大切です。まわりの子どもたちが見て見ぬふりをせず、勇気をもってまわりの大人に知らせてください。
いじめが起きていたら、友達が寄り添って対応できるようにしてほしい。 (類似意見3件)	周りの人が相談にのってくれることが、いじめられている人の安心につながります。また、いじめを止めさせることはできなくて

	も、誰かに知らせることが大切であることを学校では伝えていきます。
<b>4 関係保護者との連携</b>	
いじめが起きたときにすぐに親に連絡してほしい。 (類似意見9件)	学校は、いじめられた側といじめた側の両方の保護者に連絡します。そして、保護者と一緒に指導したり、支援したりします。
いじめられていても、親などに言って大事にしないでほしい。	いじめへの対応については、学校と家庭で連携した見守りが大切になります。そのため学校は、いじめられた側といじめた側の両方の保護者に連絡し、一緒にいじめの再発防止と心のケアに取り組みます。
<b>6 再発防止</b>	
いじめが起きて大人が対応したとして、いじめをした子は一時期は落ち着くと思うけど、時間が経過すれば、また同じ人が同じ人をいじめるケースもあり得ると思う。大人が対応するのであれば、また同じいじめが起きる可能性を考えて、責任をもって対応するという言葉を付け足したほうがいいと思う。 (類似意見2件)	学校は、いじめの防止等について、素早く組織的な取組を実施する責任があります。学校がいじめを把握した場合は、いじめ対策組織を立ち上げ、しっかりと事実確認を行い、チームでいじめの解消に向かって取り組みます。そして、二度といじめが起きないように先生などで見守りを行います。

## その他

皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
<b>その他</b>	
いじめについて相談しやすくするために、元気になれるキャラクターを作してほしい。	札幌市教育委員会では、ちっきゅん、おっほん、ゆっぽろ、というキャラクターがいます。様々な場面で登場しますので、ぜひ親しんでください。

## 大人の皆様へ

令和6年3月から令和6年4月まで、札幌市いじめの防止等のための基本的な方針(改定案)に対する意見を募集しました。この資料は、児童生徒の皆様から寄せられた意見の概要と、それに対する札幌市教育委員会の考え方について報告するものです。

ぜひ、お子様と一緒にお読みください。

---

### <問い合わせ先>

札幌市教育委員会児童生徒担当部

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 STV 北2条ビル3階

TEL:011-211-3861

Eメール:jidouseito@city.sapporo.jp

市政等資料番号

02-S02-24-1009